

水害経験と備える知恵（東近江市五個荘奥町）

■奥村神社
 ・昭和28年台風13号時
 神社にある倉庫の2階の「太鼓踞」に避難した。
 ・境内には、水防活動に使用するため
 杉が植えられていた。また、水防倉庫
 もあり石畳板・かげや・スコップ・土
 のうなどが保管されていた。（現在は
 場所が変わっている。）



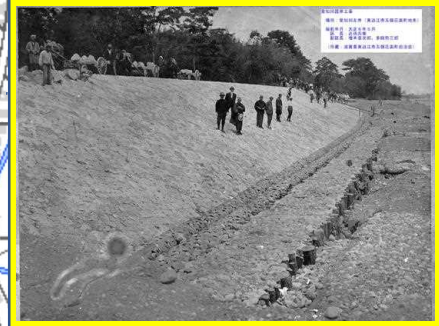
■浄光寺、圓光寺
 ・堤防決壊等のおそれがある場合は、お寺の釣り鐘をならす。

・愛知川の水位が上がった時には井戸から水が噴き出してきた。

・堤防を守るためと、竹流しに使用するために堤防に竹を植えていた。

・霞堤

■水害写真
 大正5年6月に奥町で愛知川の左岸堤防が決壊している。その堤防の復旧工事をしている時の様子。



■昭和13年8月
 ■昭和28年台風13号
 決壊

■明治39年8月
 決壊

■大正5年6月
 決壊

■昭和28年台風13号
 決壊

■平成23年台風6号、台風12号、台風15号
 ・奥町の土地が侵食され、流失した。

・左岸側にある集落を守るため、民家の無かった右岸側の堤防が低くなっている。（点線部分）

・堤防と道路に挟まれた場所が地盤が低かったため、降った雨が排水されず、度々床下浸水していた。



凡例	
●	:これまでに破堤、越水、浸水が発生した場所
■	:水害に対する知恵を確認できる場所
■	:過去の水害に対する詳細情報
■	:水害に対する知恵の詳細情報

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令元情複、第422号)
 第三者がさらに複製する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。